

# セアカゴケグモの駆除方法

## 4つの原則

セアカゴケグモは、広島県では 2012 年に大竹市で初めて確認されました。2014年9月には、山陽自動車道の福山サービスエリアと宮島サービスエリアで相次いで発見されました。車両や物資にまぎれて生息域を拡大しつつある、この侵略的外来生物の駆除方法をまとめました。

### ① 素手でさわらない！！

- セアカゴケグモの雌は人体に有害な毒を持っています。
- 毒は、咬まれることにより、上あごにある一対の牙から体内に注入されます。
- そこで、駆除の際、生死に関わらず、クモを素手でさわってはいけません！！

咬まれた場合は、すみやかに医療機関に相談します。  
その際、咬んだクモを殺して持参するようにします。



雌成体（腹面）

### ② 踏みつぶす！！

- クモの成体・幼体を殺すには、市販されているスプレー式殺虫剤を吹きかけます。
- ところが、動かなくなっても、完全に死んでいないこともあります。
- そこで、死体は靴の底で踏み潰し、完全に破壊してしまうのが安心です。

### ③ 巣・卵囊もつぶす！！

- 雌成体がいる巣には、1～3 個程度の卵囊がある可能性があります。
- 卵囊が残れば、やがて、1 個から 70～130 個体もの子グモが生まれます！！
- そこで、巣の全体を靴の底で踏み潰し、卵囊も完全に破壊する必要があります。



雌成体（背面）

### ④ 周囲をよく見る！！

- 発見した成体・幼体・巣は、発見地で繁殖したものかもしれません。
- つまり、発見された個体や巣以外にも、生息している可能性があるのです。
- そこで、発見した成体・幼体・巣の駆除の後、周囲を必ずチェックするようにしましょう！！